

# 新政府共用認証局自己署名証明書・ソフトウェアに付与されている 電子署名及びサーバ証明書の更新方法について

平成25年12月9日 (月)

1. 「政府認証基盤 (GPKI) のホームページ < <http://www.gpki.go.jp/> > を開きます。

The screenshot shows the GPKI website homepage. A red callout box contains the following text:

**【注意事項】2013.12.24までに下記作業をしないと・・・**

**<申請用総合ソフト>**

- ・ログインが通信エラーとなる。
- ・申請書の送信及び処理状況の更新等ログインが必要な操作が、通信エラーとなる。

**<かんたん証明書請求・供託かんたん申請・オンライン登記情報検索サービス>**

- ・ログイン画面等を表示した際に、ブラウザのセキュリティ警告メッセージが表示される。

On the website, the link "アプリケーション認証局2" is highlighted with a red box. A red arrow points from this link to the "アプリケーション認証局2(Root)の自己署名証明書" link in the "アプリケーション認証局2" section.

2. アプリケーション認証局 2 (Root) 自己署名証明書をダウンロードします。

The screenshot shows a browser's file download dialog box. The text "gпки.go.jp から APCA2Root.cer (1019 バイト) を開くか、または保存しますか?" is visible. The "名前を付けて保存(A)" button is highlighted with a red box. A red arrow points from this button to the "名前を付けて保存" dialog box shown in the next screenshot.

The screenshot shows a Windows file explorer window. The file "APCA2Root.t.cer" is highlighted with a red box. A red arrow points from the "名前を付けて保存" dialog box to this file. Another red arrow points from the "名前を付けて保存" dialog box to the "デスクトップ" folder in the file explorer. A third red arrow points from the "名前を付けて保存" dialog box to the "保存(S)" button in the file explorer.

## 2. アプリケーション認証局 2 (Root) 自己署名証明書をインポートします。

前頁で保存したファイルをダブルクリックします。

開いているファイル - セキュリティの警告

このファイルを開きますか?

名前: C:\Users\%\Desktop\APCA2Root.cer  
発行元: 不明な発行元  
種類: セキュリティ証明書  
発信元: C:\Users\%\Desktop\APCA2Root.cer

開く(O) キャンセル

このファイルを開く前に常に警告する(W)

インターネットのファイルは役に立ちますが、このファイルの種類はコンピューターに問題を起す可能性があります。発信元が信頼できない場合は、このソフトウェアを開かないでください。 [危険性の説明](#)

証明書

全般 詳細 証明のパス

証明書の情報

この証明書の目的:

- リモートコンピューターの ID を保証する
- ソフトウェアがソフトウェア発行者の送信であるか確認する
- 公開後のソフトウェアの変更を禁止する
- データが現在の時刻で署名できるようにする

発行先: ApplicationCA2 Root  
発行者: ApplicationCA2 Root  
有効期間: 2013/ 03/ 13 から 2033/ 03/ 13

証明書のインストール(I)... 発行者のステートメント(S)

証明書の詳細について表示します

OK

証明書のインポート ウィザード

証明書のインポート ウィザードの開始

このウィザードでは、証明書、証明書信頼リスト、および証明書をディスクから証明書ストアにコピーします。

証明機関によって発行された証明書は、ユーザー ID を暗号を保護したり、またはセキュリティで保護されたネットワークを接続するための情報を含んでいます。証明書ストアは、証明書がシステム上の領域です。

続行するには、[次へ] をクリックしてください。

< 戻る(B) 次へ(N) >

証明書のインポート ウィザード

証明書ストア

証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。

Windows に証明書ストアを自動的に選択させるか、証明書の場所を指定することができます。

証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U)  
 証明書をすべて次のストアに配置する(P)

証明書ストア:  
信頼されたルート証明機関

参照(R)...

証明書ストアの詳細を表示し

証明書のインポート ウィザード

証明書ストア

証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。

Windows に証明書ストアを自動的に選択させるか、証明書の場所を指定することができます。

証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U)  
 証明書をすべて次のストアに配置する(P)

証明書ストア:  
信頼されたルート証明機関

参照(R)...

証明書のインポート ウィザード

証明書ストアの選択

使用する証明書ストアを選択してください(C)

- 個人
- 信頼されたルート証明機関
- エンタープライズの信頼
- 中間証明機関
- 信頼された発行元
- 信頼されていない証明書

物理ストアを表示する(S)

OK キャンセル

証明書のインポート ウィザード

証明書のインポート ウィザードの完了

[完了] をクリックすると、証明書がインポートされます。

次の設定が指定されました:

- ユーザーが選択した証明書ストア: 信頼されたルート証明機関
- 内容: 証明書

< 戻る(B) 完了 キャンセル

証明書

正しくインポートされました。

OK

作業は以上となります。 お疲れ様でした。

作成：株式会社 ベルコンピューターシステム

<http://www.bell-com.biz>

All Rights Reserved, Copyright © Bell Computer System

URL : <http://bell-com.biz/>